

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（水環境整備事業）					
地区名	下之郷地区					
事業箇所	清須市					
事業のあらまし	<p>清須市の北東部に位置する本地区は、名古屋市に隣接する都市近郊の農業地域であり、田園風景が広がる水と緑に恵まれた自然環境豊かな地域である。</p> <p>しかしながら、近年の急速な都市化の進展により身近な自然が減少している状況にあり、快適で潤いのある住環境づくりが求められていた。</p> <p>このため、本地区では、暗渠化された農業用排水路の上部を利用して、水路の保全管理上必要な整備に併せて、景観の保全整備を一体的に行い、地域の憩いの場、安らぎの場を創造することを目的として平成17年度から水環境整備事業を実施し、平成20年度に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 農業用排水路の適切な保全と管理を図ると共に、田園風景や町の歴史、町並みに調和した遊歩道整備を行うことにより、快適で潤いのある住環境を創造する。</p> <p>【副次目標】 なし</p>					
事業費	事業費	内訳				
	103百万円	■工事費	85百万円、	□用補費	百万円、■その他	18百万円
事業期間	採択年度	平成17年度	着工年度	平成17年度	完成年度	平成20年度
事業内容	<p>親水・景観保全施設（せせらぎ水路等）1式 利用保全施設（遊歩道、休憩施設）1式</p>					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】 地区全体を地域の状況に応じて「うるおいゾーン」「歴史探索ゾーン」「自然リフレッシュゾーン」の3つに分けて施設整備内容に変化を持たせたことから、地域毎に調和した遊歩道整備ができた。</p> <p>遊歩道の一部は市内の小学校の通学路にも利用され、せせらぎ水路にいるメダカや花壇に植えられた草花を眺めながら登下校できる。</p> <p>施設の維持管理については、清須市や地元組織が、草刈りや清掃等を随時行っており、適切な維持管理がなされている。</p> <p>特に、地元ボランティアグループの「かきつばた」は、清須市と協力のもと花壇の世話、清掃等保護等、美化活動を積極的に行っており、事業を実施したことで地域が活性化した。</p> <p>【達成状況に対する評価】 本事業により、用排水路上部に地覆を兼ねて遊歩道等を整備することにより、適切な保全・管理が図られた。</p> <p>また、せせらぎ水路や遊歩道等の整備を行い地域住民の憩いの場、安らぎの場として活用され、美化活動などの地域活動を通して地域コミュニティが活性化された。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	該当なし。				
III 対応方針						

今後の事後評価の必要性	主要目標が計画通り達成しているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が計画通り達成しているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	今後ともよりよい整備を行うためには、地域住民との意見交換を通じて、地域の体制や特性を反映し、地域の状況に即した整備が必要である。